

駆けずり回った 8年間の軌跡

山口市議会議員
へや 翔大

山口市議会議員 部谷翔大後援会会報「情熱通信」vol.13

政策紹介

1 多様性あるやまぐちの実現を目指して!

- ・若者が活躍出来る街。行政の審議員やアドバイザーなどへ若者の登用
- ・LGBT(性的少数者)パートナーシップ 制度の導入
- ・山口県出身の全国で活躍している方々の知識、技術をまちづくりに生かす

2 子どもたちがやりたい事が出来るやまぐちをめざして!

- ・学校にやりたい部活がない子たちの為、クラブチームなどに参加しやすい環境を整える
- ・ITなど、先端技術を使い、学校にとらわれない、教育環境の提供
- ・学校の制服の自由化、選択制の導入

3 持続可能な山口市を目指して

- ・無駄な物は作らない。既存施設を活用して、将来負担の軽減
- ・先端技術を活用し、ご高齢の方がご自宅で看護、介護が安心して受けられる体制整備
- ・人生100年時代を見越した、まちづくりの抜本的な見直し

へや しょうた
部谷翔大
後援会事務所

E-Mail heya.shota@gmail.com

〒753-0070 山口市白石 2-6-9 ☎ 080-3542-0729

へや翔大 山口市



facebook

経歴

- 1986年6月20日生まれ（35歳）
- 1999年 山口市立白石小学校卒業
- 2002年 山口市立白石中学校卒業
- 2005年 山口県立西京高校卒業 [野球部]

- 複数の国会議員公設秘書を務める
- 2014年 國學院大學法学部政治専攻卒業
- 2014年 山口市議会議員選挙初当選（28歳）
- 2018年 山口市議会議員選挙二期当選（31歳）

肩書

- ・山口ガールズ（女子中学軟式野球チーム）代表・西京高校野球部OB会 副会長
- ・NPO 法人理事など多数



部谷翔大公式ブログ

① LGBTQ関連

議会にてLGBTQを人権課題に。また市主催の講演会で当事者を講師で招く、職員向けの研修などを実施。個人的にも各種講演などで講師、モディレーターを務めるなど活動。

※山口市人権推進指針に



当事者と行った講演会
左著者 真ん中右山口県在住の当事者

② 骨髓バンクドナー 休業補償制度の制定

白血病は骨髄移植で治療できる可能性がある病気だが、提供者が仕事を休めず提供を断念するケースも。そうした事態を無くす為、会社や提供者に休業の保証をする制度を山口市で制定。※山口市骨髄等移植ドナー支援助成金制度が制定される。

③ 山口ガールズの結成

子どもたちのやりたい事が都会に比べできない現状を変えるため、山口県初の女子中学生の軟式野球チームを作る。昨年に結成五年目となり25人のチームに成長。



全国大会で初勝利を上げる。

④ 30歳祭り開催

若者の交流の幅を広げる為、30歳祭りの開催。同級生250人集まり大成功を収める。その後次世代に引継ぎで開催から3年続き、仕事やプライベートで多くの交流が生まれる。



第1回30歳祭集合写真

⑤ 様々なメディアに取り上げられる。

ブログの記事がスマートニュースをはじめとする、ネットニュースに何度も掲載。大竹まことのラジオ「ゴーリーデンニュース」や、各種YouTube番組に出演するなどメディアへの露出が増える。LGBTの活動、山口ガールズ、30歳祭りなどを自身が行っている活動も各種メディアにて取材を受ける。



当選して8年間、故郷のために駆けずり回った日々

山口県は高齢化率が30%を越え、全国3位。議会も、私が28歳で初当選した際平均年齢は60歳近く、若い人の感性や思いが中々、まちづくりに生かされてないと思い、若手を代表するという意気込みで、様々な新しい事を提案し、チャレンジをして参りました。若い人が輝けるまちは、人が集まり、活気があり、税収も上がる…それは医療、介護人材の充実、自身のお子様が山口に留まるなど、結果として先輩方の為になると信じてきました。今後もこの思いの元、議会内外を全力で駆けずり回りたいと思います!



山口大神宮で年越しのお手伝い

コロナで売り上げの下がった飲食店の為に、ドライブスルーでお弁当販売

幼稚園パパの会

呼ばれたら、頼まれたらなんでもやるをモットーに各種祭り、イベント、団体で活動。レノファ山口のグッズ売り場でのマイクを使った呼び込み、消防団活動、神輿の担ぎ手幼稚園、小学校PTA活動など様々な活動を行う。

⑦ 各種祭り、イベント、団体で活動

その後合併先の党においても青年局長代行として地方議員代表に選出。

⑥ 党本部の青年(45歳未満)の全国代表に



各都道府県議など全国役員のみなさんと

山口市議会議員

へや翔大
35歳

